

指標の意義

急性期における治療が終了した後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要である。地域医療に関する医療体制を評価する。

指標の計算式、分母・分子の解釈

期間	各指標の計算式と分母・分子の項目名	分母・分子の解釈
分子	分母のうち地域連携に関する算定のある患者数	地域連携診療計画加算（入退院支援加算） 診療情報提供料（I） 退院時共同指導料2 開放型病院共同指導料（2） 介護支援等連携指導料
分母	期間中に退院した患者数 このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた患者数 このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われた患者数 このうち、退院時転帰が死亡でないもの	手術コード K0441 K046-21 K0461 K0611 K0631 K0811 K083
収集期間	1ヶ月毎	
調整方法		

2022年間数値報告

最小値 0.00 25%値 33.33 中央値 50.00 75%値 71.43 最大値 90.00

最小値 0.00 25%値 26.48 中央値 39.12 75%値 51.09 最大値 71.43 （2021年実績）

考察・分析

2021年4月より指標を変更しています。

指標の定義変更が前年4月となっており、単純に比較はできませんが、2022年は25%値、中央値、75%値、最大値に上昇がみられ、連携がすすんでいることがうかがえます。

従来は地域連携パスの使用率を測定していましたが、算定要件があり、算定していない病院の地域連携を測定する目的に、地域連携に関する算定のある症例を集計するよう変更しています。

2022年は29病院400件の連携実績が報告されています。

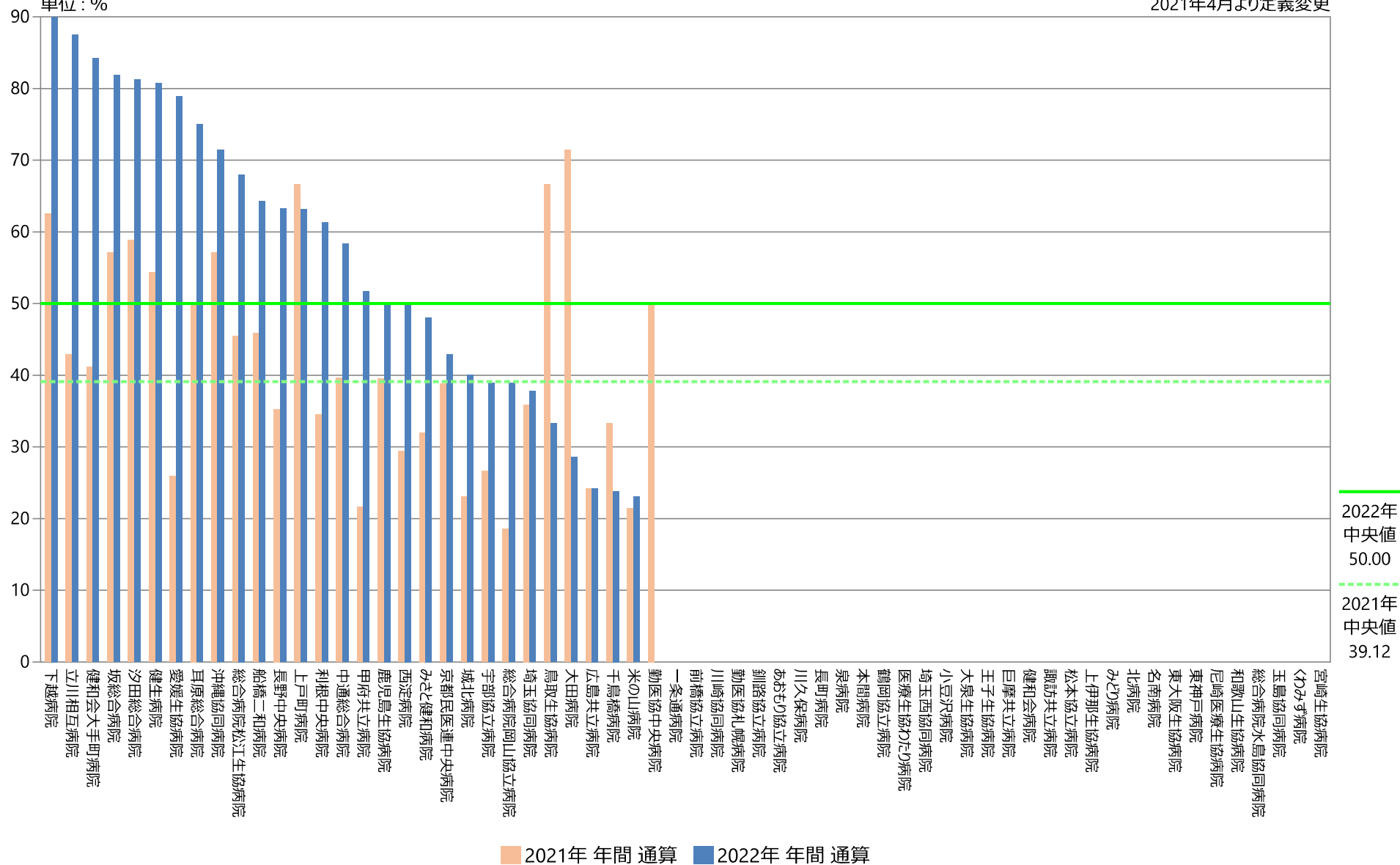
改善・運用事例な

指標56(厚)：大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率

指標56(厚)分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数
 指標56(厚)分子：「地域連携診療計画加算」を算定した患者数

単位：%

2021年4月より定義変更



2022年
中央値
50.00

2021年
中央値
39.12

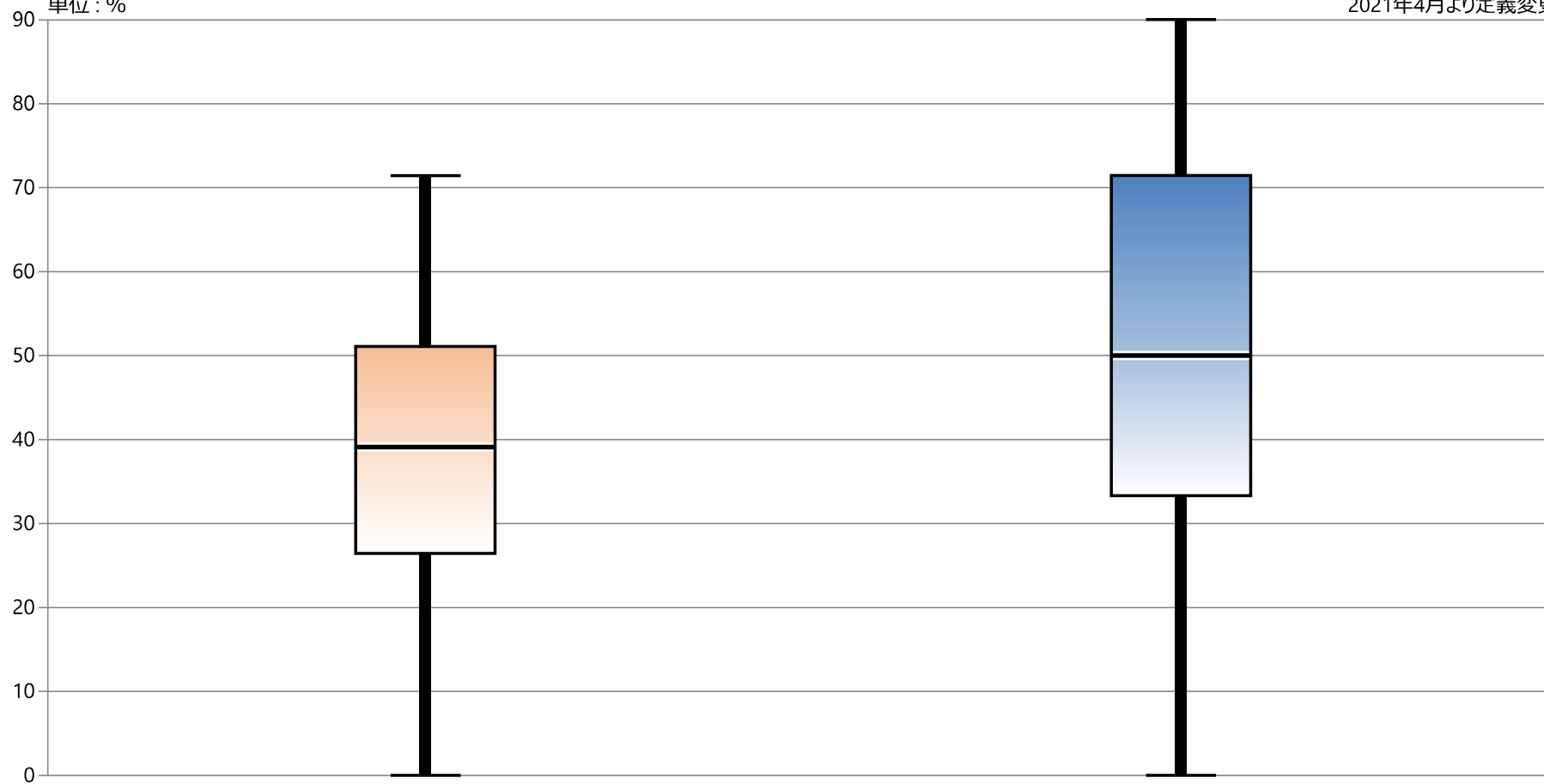
指標56(厚)：大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率

指標56(厚)分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数

指標56(厚)分子：「地域連携診療計画加算」を算定した患者数

単位：%

2021年4月より定義変更



	2021年 年間 通算	2022年 年間 通算
最大値	71.43	90.00
75%値	51.09	71.43
中央値	39.12	50.00
25%値	26.48	33.33
最小値	0.00	0.00

